

宮城県丸森町の農場で豚熱発生！

◆宮城県 豚熱の確認について

所在地：宮城県丸森町（約7,000頭飼養・ワクチン接種農場）

疫学関連農場：11県26農場 疑似患畜合計 約900頭

岩手県（1農場）、宮城県（1農場）、山形県（2農場）、茨城県（6農場）、
栃木県（2農場）、群馬県（2農場）、埼玉県（2農場）、千葉県（6農場）、
神奈川県（1農場）、静岡県（2農場）、愛知県（1農場）

経緯：12/24 複数豚に異常（呼吸器症状、下痢、発熱）が見られる
との通報を受け、宮城県が立ち入り

12/25 国の精密検査で豚熱患畜確認

ワクチン接種農場で豚熱発生が続いています！

- ワクチンを接種しても、全ての豚が免疫を獲得するわけではありません。
- 特に子豚では、母豚から移行する免疫量の影響を受けるため、ワクチンの効果が安定せず、免疫を持たない時期が必ず存在します。
- 南丹全域で豚熱に感染した野生いのししが多数確認されています。
ワクチンを接種していても、安心せずに予防対策の徹底をお願いします。

～最近の豚熱発生事例～

	発生日	発生場所	飼養頭数	備考
70例目	R3.8.6	山梨県道志村	約1,700頭	ワクチン接種農場
71例目	R3.8.7	群馬県桐生市	約5,000頭	ワクチン接種農場
72例目	R3.10.6	滋賀県近江八幡市	約1,400頭	ワクチン接種農場
73例目	R3.10.19	群馬県前橋市	約3,450頭	ワクチン接種農場
74例目	R3.11.26	群馬県桐生市	約2,400頭	ワクチン接種農場
75例目	R3.12.12	宮城県大河原町	約9,700頭	ワクチン接種農場
76例目	R3.12.25	宮城県丸森町	約7,000頭	ワクチン接種農場

京都府南丹家畜保健衛生所 南丹市八木町木原北東庄18

TEL 0771-42-3308（休日・夜間は転送されます） FAX 0771-42-5117

宮城県における豚熱の確認(国内76例目)及び「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」の持ち回り開催について

本日、宮城県丸森町(まるもりまち)の養豚農場において家畜伝染病である豚熱の患畜が確認されたことを受け、農林水産省は、「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の防疫方針について確認します。
現場及び周辺地域にも本病のウイルスが存在する可能性があり、人や車両を介して本病のまん延を引き起こすおそれがあります。現場及び周辺地域での取材は、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。

1. 農場の概要

所在地：宮城県丸森町

飼養状況：約7,000頭

疫学関連農場：岩手県(1農場)、宮城県(1農場)、山形県(2農場)、茨城県(6農場)、栃木県(2農場)、群馬県(2農場)、埼玉県(2農場)、千葉県(6農場)、神奈川県(1農場)、静岡県(2農場)、愛知県(1農場) これらの農場で飼養する豚のうち、発生農場から移動した豚や、発生農場の豚から採取された精液を用いて人工授精を行った豚などの疑似患畜(合計約900頭)について殺処分を行います。なお、疑似患畜の所在県はいずれも豚熱ワクチン接種を行っています。

2. 経緯

(1) 宮城県は、同県丸森町の農場から、異状(呼吸器症状、下痢、発熱)が見られるとの通報を受け、昨日(12月24日(金曜日))、当該農場に立ち入り、病性鑑定を実施しました。

(2) 宮城県の検査により豚熱の疑いが生じたため、農研機構動物衛生研究部門(注)で精密検査を実施したところ、本日(12月25日(土曜日))、豚熱の患畜であることが判明しました。

(注) 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門：国内唯一の動物衛生に関する研究機関

3. 今後の対応

本日、「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」を持ち回りで開催し、「豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づく以下の防疫措置等について確認を行うとともに、万全を期します。

- (1) 当該農場の飼養豚の殺処分及び焼埋却等の必要な防疫措置を迅速かつ的確に実施します。
- (2) 感染経路等の究明のため、国の疫学調査チームを派遣します。
- (3) 本病の早期発見及び早期通報の徹底を図ります。
- (4) 関係府省と十分連携を図るとともに、生産者、消費者、流通業者等への正確な情報の提供に努めます。
- (5) 農場の消毒や野生動物の農場への侵入防止等の飼養衛生管理基準の遵守に関する指導を徹底します。

4. 農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部

日時：令和3年12月25日（土曜日）（持ち回り開催）

5. その他

（1）豚熱は、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。

（2）現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害するおそれがあることなどから誠に慎むよう御協力をお願いいたします。

特に、ヘリコプターやドローンを使用する取材は防疫作業の妨げとなるため、誠に慎むようお願いいたします。

（3）今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者は根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いいたします。

【お問合せ先】

消費・安全局動物衛生課

担当者：星野、金子

代表：03-3502-8111（内線4581）

ダイヤルイン：03-3502-5994